

令和4年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

翼東小	学校	児童数	73
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20m シャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.25	19.43	33.15	31.66	39.06	9.93	124.66	20.86	47.27
大阪市	16.11	18.44	33.14	38.26	42.95	9.59	148.22	20.07	50.83
全国	16.21	18.86	33.97	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
女子	16.51	15.18	40.29	30.88	28.34	10.09	122.76	10.97	48.29
大阪市	16.01	17.55	38.00	36.50	34.13	9.76	140.76	12.77	52.65
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31

結果の概要

男女とも、体力合計点は全国・大阪市平均よりも低い結果となった。男子は、握力、上体起こし以外の種目は、全国平均よりも数値が低く、特に反復横跳び、立ち幅跳びは差が大きい。女子は、握力、長座体前屈以外の種目が全国平均より数値が低く、男子と同様に、反復横跳びと立ち幅跳びの差が大きかった。

「運動をすることは好きですか。」の項目に、男女とも約84%の児童が肯定的な回答をしており、運動が好きな児童の割合は高い。「体育の授業は楽しいですか。」の項目では、男女とも約90%の児童が肯定的な回答をしており、体育の授業でも楽しく運動に取り組んでいることがうかがえる。しかし、1週間の総運動時間が60分未満の児童が男子は20%、女子は13%、放課後や休日に運動する機会が全くない、あまりない児童が男子は30%、女子は35%いることから、学校以外での運動時間が少ないことが課題である。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校の児童の多くは、体を動かすことが好きであり、体育の時間や休み時間には、運動場で元気よく運動している姿が見られる。今年度は、体育の実技研修会を実施し、体育の授業で子どもたちが楽しく運動に取り組みながら、より効果的に体力向上を図れるように指導方法の改善を図ったり、投げることに特化した記録会を全学年年間2回実施したりした。また、コロナ禍で中止していた放課後の運動場の開放を再開し、子どもたちが体を動かせる環境を作った。

しかし、この2年間で低下した体力が向上することには至っていない。放課後や休日に運動することが、「あまりない」「全くない」と回答している児童が、男子で30%、女子35%いることから、学校内での運動時間の確保がより重要になってくる。体育の授業での運動時間の確保や、指導方法の工夫改善を図ることや、なわとび週間やかけあし、記録会など体力向上の取り組みのさらなる充実を図っていく必要がある。

